

環境 NEWS (第30回)



全日本サーフキャスティング連盟本部 環境部

昨年の夏はとても暑かった。でも、今年の夏はもっと暑い。そう感じられた方が多いと思います。では、来年の夏はどうなっているのでしょうか。

だれもが心配している気温の上昇傾向。特に、釣りが大好きな人間にとって、暑さのために釣りに行くことが出来ない、また、釣りに行ってもサカナがいない。こんな状況は、何とかしなければ、とは思ものの、自分では何にもできないことに、もどかしさを感じています。

見るのもいやでしょうが、今年の3月に気象庁が発表した『日本の気候変動 2025』から、海水温が上昇するという記事をご紹介します。

釣るサカナを見直すか、夏場はシーズンオフとしてしまうか、寂しい話ですね。

詳しくは、日本の気候変動2025(本編 ①)

海水温【観測結果】



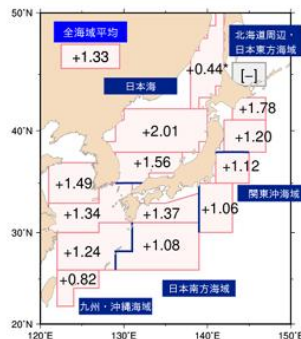
文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY



気象庁
Japan Meteorological Agency

- 平均海面水温：日本近海では、2024年までの間に100年当たり1.33℃の割合で上昇。

- 世界平均の2倍以上の上昇率（日本近海は、温まりやすい陸地や暖流である黒潮の影響を地理的に受けやすいため、上昇率が高くなると考えられる）。
- 上昇率は、季節や海域によって異なる。



日本近海の海域平均海面水温（年平均）の上昇率（℃/100年）
図中の値は1900～2024年までの上昇率（100年当たりの上昇幅）を示す（値のみの海域は上昇している海域、値に「*」を付した海域は上昇傾向が現れている海域）。網走沖は1960年代以前のデータ数が少ないため長期変化傾向の解析は行っており、上昇率を「-」としている。

17

詳しくは、日本の気候変動2025(本編 ②)

海水温【将来予測】



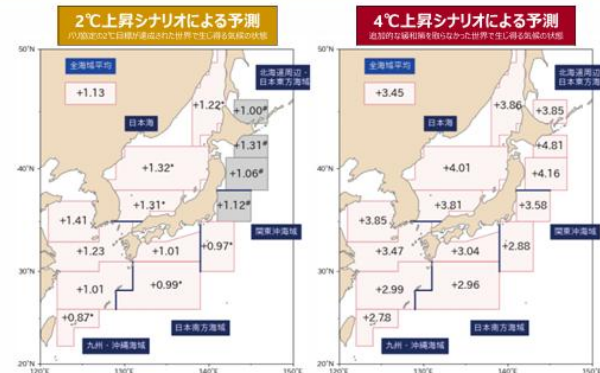
文部科学省
MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY



気象庁
Japan Meteorological Agency

- 平均海面水温：いずれのシナリオにおいても、日本近海では上昇すると予測。

- 世界平均よりも上昇幅は大きい。
- 日本近海の海面水温上昇は一様ではなく、上昇幅は、2℃上昇シナリオでは黄海で、4℃上昇シナリオでは釧路沖や三陸沖で大きい。



21世紀末の日本近海の海域平均海面水温の20世紀末からの上昇幅（℃）
図中の値は上昇幅を示す（値のみの海域は海面水温が上昇すると予測される海域、値に「*」を付した海域は海面水温の上昇傾向が見られると予測される海域、値に「#」を付した海域は、予測結果に明確な変化傾向が見られない海域。）。網走沖は1960年代以前のデータ数が少ないため長期変化傾向の解析は行っており、上昇率を「-」としている。

本スライドにおける「将来予測」は、特段の説明がない限り、日本全国について21世紀末の予測と20世紀末の予測と比較したものである。

18